

## 【学校関係者評価書】（令和元年度）

園 名	奈良市立富雄北幼稚園
評価者名 (学校評議員名)	金森 啓 ・ 三原 シゲ子 ・ 石井 菜緒子 ・ 津田 幸
学校関係者評価実施日	

大項目	中項目	目標達成状況及び 取組状況について	園の取組の 適切さについて	教育活動、学校経営の 改善方針について
Ⅰ 教育活動に関するもの	教育目標・教育計画 教育内容・保育指導 園行事 人権教育 生徒指導 特別支援教育	○園教育目標達成に向けて、子ども達に幼児期に必要な豊かな経験ができているので、子どもの成長につながっている。 ○毎月の便り、掲示板の活用、ホームページで園の取組がよくわかる。また、園長通信「ハートフル」を読み、どんな保育や教育観を持って取り組んでおられるのかよく理解できる。	○子どもの実態に応じて一人一人に丁寧にかかわり、指導されている。そのため、子ども達がいきいきと活動し、自分の思いを伝えたり、挨拶したり楽しんでいる様子がうかがえる。運動会や作品展等のみんなで行うことは協働・共同の経験をする意味でとてもいいことだと思う。	○家庭で外で遊ぶことが少ないためか、運動する機会が減って運動能力の低下や怪我をすることが多くなってきている。体を動かして遊べる環境を工夫していき体力や運動能力の向上に努めてほしい。また、子どもたち同士のコミュニケーションづくりの環境や思いやりの心が育つ環境を行い、成長を見守ってほしい。
Ⅱ 園経営に関するもの	組織運営 研究・研修 安全管理 保健管理 地域との連携 施設・設備 情報管理	○保護者、地域の協力を得る取組が多くあり、地域との連携に努めている様子がうかがえ、とても良い。また、クラス数が減り、職員の数が増えているにもかかわらず、今までと変わらない運営をしておられる。全職員が協力体制の中で効果的に運営されているのを実感している。親と子の安心につながっていると思う。	○PTA活動は、入会しない保護者もおられたり、働いている方もおられたりして、大変になってきているが、園と保護者が協力して無理のないように取り組んでいるのを感じている。また、園の開閉の管理もしっかりされている。園内の木々の伐採等もきれいにされていて外からの見通しもよい。	○地域の方が幼稚園に来園されることも多いので大人の洋式トイレの施設要望をお願いしてほしい。 ○昨年度、小学校創立140周年・幼稚園80周年記念として音楽会を一緒にしたのが印象的であった。交流の仕方はいろいろあると思うが小学校との連携をもう少し深めてほしい。

### その他の園に関する意見

○子どもの習慣や生活態度は、家庭でのしつけのような教育が最初である。若い母親が多く他の方と交流をしながらない母親、働く母親、しんどい子育てをしたがらない母親等、いろいろな形で教育や保育が上手くいっていない保護者が多くなってきているので、幼稚園でしっかりと母親を含めた保護者を育ててほしい。そこで、預かり保育の利用の仕方が気になる。仕事や病氣、用事等預け方は様々であるが、リフレッシュがいつまでもリフレッシュで子どもとかかわらない、人任せの子育てにならないか。子育てに影響がでないかどうか心配である。親がもうちょっと、かかわってほしい。

○近隣に保育園やこども園ができて園児が少なくなっている。働く保護者が増えたのが多いと思うが、給食や送迎などの便利さを含めて親の都合で預ける方もおられるのではないか。幼稚園というものの存在として、2年保育や保育時間の短さ、徒歩通園、給食がない等の不便さがある。今のニーズにあっているのかどうか。今後、幼稚園がどうなるのか心配である。存続に向けて地域と一緒に考えていく必要がある。

○今年度は、人数が少なくなったが作品展等を通して、先生方と子ども達の信頼関係が伝わってきた。無理強いをせず、じっくり話を聞いて、子ども達の力でつくりあげようという指導に感動した。